

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	樺田 高雄	電話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3185	事務事業名称	地域医療推進事業	短縮コード	経常	臨時	3185					
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター設計事業補助金交付要綱 八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター整備事業補助金交付要綱 八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター救急医療事業等補助金交付要綱								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
本市の医療課題に対応する高機能を備え、地域の中核病院となる東京女子医科大学附属八千代医療センターを整備し、あわせて地域医療連携を推進する。平成7年10月1日に総合医療センター推進室を設置し、事業を開始した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	01	健康福祉都市をめざして					
医療体制の整備については、当初、公設公営による総合病院の建設を目指していたが、その後の様々な社会環境の変化などを踏まえて、民設民営による、東京女子医科大学附属八千代医療センターの整備を目指すに至った。そして、平成18年12月8日に医療センターは開院したところであるが、今後、高齢化や疾病構造の変化などから市民の医療ニーズがますます多様化、高度化していくことが予想される。					大項目 (節)	01	保健・医療					
					中項目	02	医療					
					小項目 (施策)	01	地域医療体制の整備・充実					
						02	救急医療体制の整備・充実					
					細項目	01	地域医療体制の整備					
				02		救急医療体制の整備						
				実施計画の計画事業	1102	総合医療センター整備事業						
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間	平成11年4月 ~ 平成20年3月		計画事業費	千円			

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	東京女子医科大学附属八千代医療センター						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: ①大学、医師会、市による三者協議等を開催した。②東京女子医科大学に対し、医療センター設計事業補助金、整備事業補助金及び救急医療事業等補助金を交付した。③医療センター用地の土地取得費の一部を償還した。④医療センター開院前に市民見学会をはじめ関係団体を対象とした施設見学会を実施した。⑤「広報やちよ」において医療センターの施設概要や医療の特徴などを特集したほか、提供される医療内容についてシリーズで掲載した。 ※平成19年度に計画していること: 平成19年度から「急病センター事業」と統合し、「地域医療対策事業」として事業を行う。 ①地域医療協議会を開催する。②医療センターを中核とした地域医療体制について大学、医師会などと協議を行う。③東京女子医科大学に対し、医療センター整備事業補助金及び救急医療事業等補助金を交付する。④医療センター用地の土地取得費の一部を償還する。						
意図 (何を狙っているのか)	東京女子医科大学附属八千代医療センターを平成18年12月に開設する。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	地域の医療体制が整備される。						
区分		単位	17年度	18年度		19年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	施設数	数	1	1	1	
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	協議会等の開催回数	回	5	8	4	
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	東京女子医科大学附属八千代医療センターの整備進捗状況	%	67	100	100	
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1	地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	%			44.2	
	指標2	市外医療機関への搬送率	%			31.6	
	指標3	覚地から医療機関へ収容するまでの平均時間	分			31	

コード	3185	事務事業名称	地域医療推進事業		所属名	健康福祉課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績		計画		計画	
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0		
		県	千円	0	0		
		地方債	千円	0	0		
		一般財源	千円	640,334	579,574	562,492	
		その他	千円	400,000	500,000	500,000	
主な事業費の内訳		地域医療協議会等委員謝金117,500、設計事業補助金39,999,000、整備事業補助金700,000,000		報償費281,000、公有財産購入費236,420,000、補助金840,000,000		公有財産購入費220,612,910、補助金839,999,000	
19年度から「地域医療対策事業」に統合。							
人件費(B)		千円	26,590.8	17,637.8	23,538.8	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,066,924.8	1,097,211.8	1,086,030.8	0	0

### 3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由				
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	医療センターは、地域医療を支援する中核病院として、市の医療提供体制の向上を図るとともに、地域医療機関と連携して市民の医療課題に対応するものであるため。				
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある					
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない					
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	医療センターは平成18年12月に開院したが、今後はその効果を踏まえた上で地域医療体制の一層の充実を図っていく。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない						
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項						
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	医療センターは、民設民営による整備を目指して市が大学病院を誘致したものであるが、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、今後も地域医療体制の一層の充実に向けた調整役を行政が担うべきである。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない						
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	本事業においては、本市の中核病院となる医療センターの開業を目指してきた結果、平成18年12月に医療センターが開院に至ったところではあるが、より一層地域医療体制の充実を図るためにも、今後は類似事業との統合を進める。					
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある						
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項						
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	本市の医療課題に対応する地域の中核病院として、東京女子医科大学附属八千代医療センターが平成18年12月8日に開院し、24時間365日体制の救急医療が提供されることとなったほか、医療センター内には小児の初期救急医療を専門に行う「やちよ夜間小児急病センター」が設置された。その結果、市が設置・運営してきた急病センターの医科を平成18年12月7日に、さらに休日在宅当番医制への移行から歯科は平成19年3月末で廃止した。以上のように、本市の救急医療体制は医療センターの開院に伴って大きく変化したことから、本事業と関連の強い「急病センター事業」を平成19年度から統合し、「地域医療対策事業」を新設することとなった。				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある					
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある					
		<input type="checkbox"/> 可能性がない					
		<input type="checkbox"/> 民間委託等					
⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用	類似事務事業名称	1	急病センター事業	実施主体(所管部署)	健康福祉課	
	<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				2	実施主体(所管部署)	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある						
	<input checked="" type="checkbox"/> ない						

コード	3185	事務事業名称	地域医療推進事業			所属名	健康福祉課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			医療センターの開院によって本市の医療体制は充実が図られたところであるが、今後は高齢化等による医療需要の変化や市民の医療に対するニーズを考慮の上、より効果的な地域医療体制の構築を目指す。なお、医療センターの建設及び運営等に当たっては、大学との間で締結した基本協定に基づき一定の期間、必要な支援を行うこととなる。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域医療の中核となる医療センターには、一定の期間、財政支援を行うことから、今後も支援に見合うよりよい医療の提供を求めていく。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不 変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
現在の財政状況などから開設に伴う助成内容の見直しを求める意見が一部の市民からあがっていたが、多くの市民が早期開設を切望していた。議会においては医療センターに関係する案件の議決が得られている。	

所属長コメント	市民の救急医療や高度医療、入院医療等に対応する医療センターの受け入れ体制も月ごとに充実してきている。確かな運営がされるよう支援していきたい。	
評価調整委員会意見	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	効果的な地域医療体制構築を目的として「急病センター事業」との統合を平成19年度より実施し、「地域医療対策事業」を新設することを支持